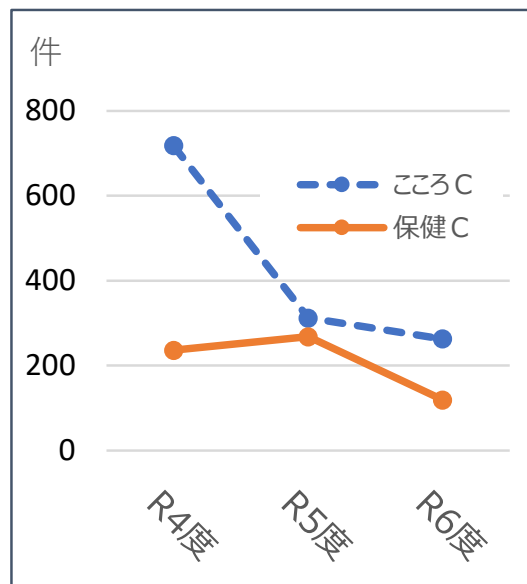


【資料 3】依存症対策事業実績

- ① 令和6年度相談事業（相談件数実績）
- ② 令和6年度相談事業（グループワーク等実績）
- ③ 令和6年度研修事業
- ④ 令和6年度啓発事業
- ⑤ 依存症地域支援計画 進捗管理
- ⑥ 令和7年度依存症事業
- ⑦ 市民意識調査について

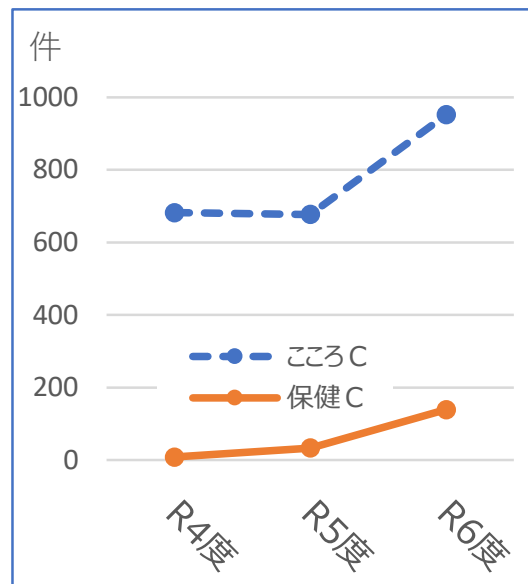
①令和6年度相談事業（相談件数実績）

薬物



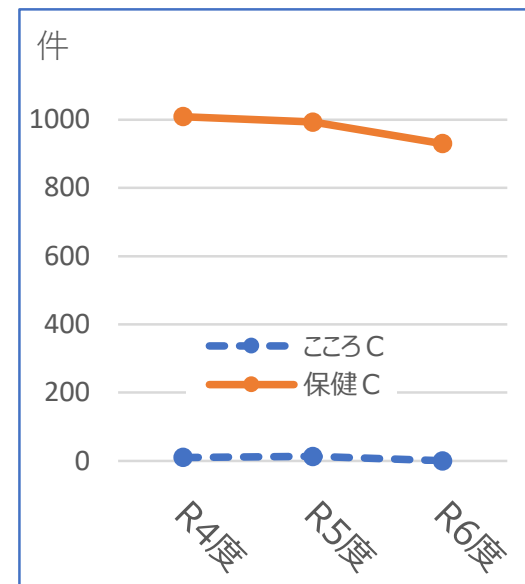
	R4度	R5度	R6度
ココロC	718	312	263
保健C	236	268	119

ギャンブル



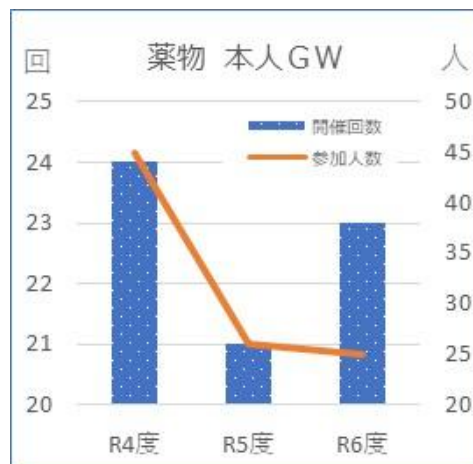
	R4度	R5度	R6度
ココロC	682	677	952
保健C	8	33	139

アルコール

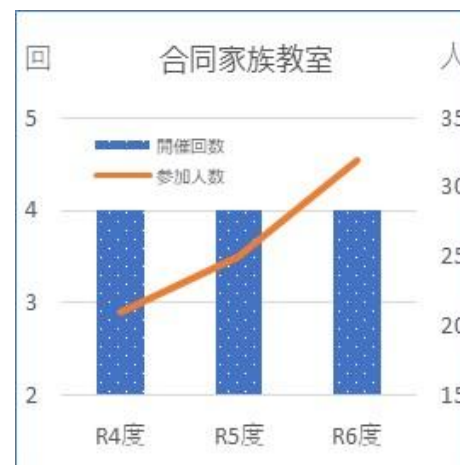
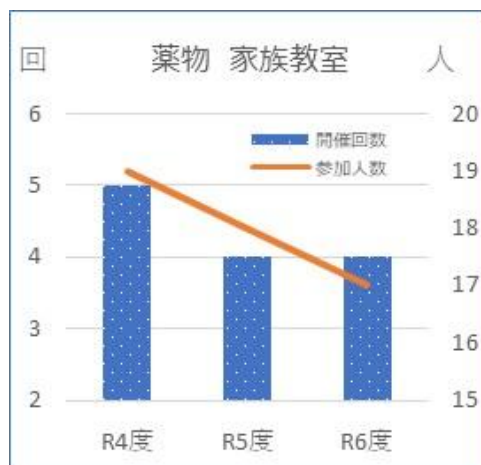


	R4度	R5度	R6度
ココロC	10	13	0
保健C	1009	993	930

②令和6年度相談事業実績（グループワーク等実績）



			R4度	R5度	R6度
本人	薬物	開催回数	24	21	23
		参加人数	45	26	25
	ギャンブル	開催回数	10	11	15
		参加人数	21	28	45
家族	薬物	開催回数	5	4	4
		参加人数	19	18	17
	ギャンブル	開催回数	5	4	4
		参加人数	21	12	27
	合同	開催回数	4	4	4
		参加人数	21	25	32



連携・事業協力
ダルク
関西薬物依存症 家族の会
GA大阪
全国ギャンブル依存症 家族の会
大阪いちょうの会（司法書士）
大阪精神医療センター

③令和6年度研修事業

令和6年度実績

(1) こころの健康センター実施研修

○依存症全般に関する研修	3回	78名参加
○アルコール関連問題	2回	158名参加
○薬物依存研修	3回	182名参加
○ギャンブル等依存研修	2回	58名参加
○ゲーム依存	1回	29名参加

(2) 大阪府・大阪市・堺市共同事業

○地域生活支援研修 ギャンブル等依存症に関する研修

7月19日(金) 14:00～17:00 151名参加(対面68名 WEB83名)

(オンデマンド配信：令和6年10月30日(水)～12月10日(火))

(3) 依存症対策全国センター 研修

○依存症治療指導者養成研修	市内医療機関より4名参加
○相談対応指導者養成研修	市内相談機関等より10名参加

(4) アルコール依存症臨床医等研修 市内医療機関より2名参加

(5) 大阪府・大阪市・堺市共同事業

○依存症治療・研究センター事業(依存症治療体制強化事業)	
大阪精神医療センターに委託実施	3回 187名参加

(6) 堺市地域連携事業

○ミニフォーラム	1回 55名参加
----------	----------

③-2 令和6年度研修事業 ―堺市域版OACミニフォーラム―

**令和6年度
堺市域版OACミニフォーラム**
～支援者もひとりやないさかい相談してな～
つながろう！依存症支援の輪

支援機関を知りたい！
支援機関のことをもっと知ってほしい！
地域の依存症の支援機関はどんなことをしているの？
支援者と名刺交換をしたい！

日時 令和7年2月4日（火）14時00分～16時45分
（開場：13時45分）

場所 堺市立健康福祉プラザ 3階 大研修室

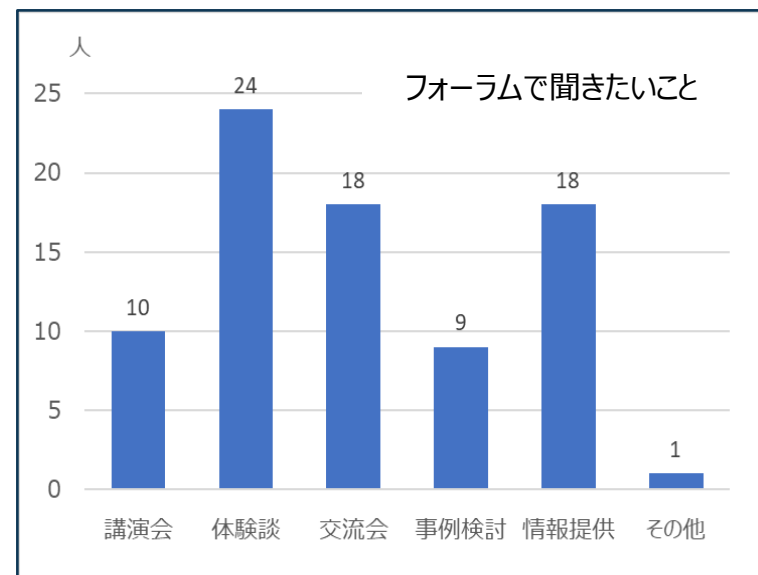
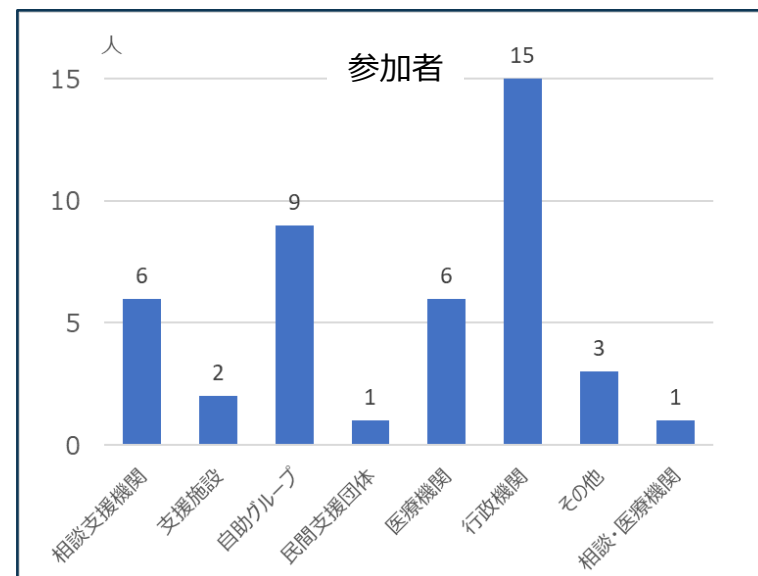
**参加無料
先着 50名**

プログラム

- 講演会「依存症治療における入院治療の実際とコメディカルの支援」
～アルコール専門医療機関での治療と支援～
講師 医療法人 以和貴会 金岡中央病院
医療福祉相談室 主任 佐近 浩司 氏
アルコール依存症治療専門病棟
看護部主任 大北 真史 氏
- 依存症の当事者・家族による体験談
- 自助グループや支援機関の紹介・交流会

対象 堺市内で活動している自助グループメンバー、医療機関職員、行政機関職員、その他依存症の本人及び家族への支援に関わっている、または関わる可能性がある機関・団体の職員

「OAC」とは、大阪アクションセンターの略称で、関係機関・団体同士が情報共有・連携しながら、依存症の本人及び家族等の相談・治療・回復を途切れなく支援するためのネットワークのことです。
令和4年度より、堺市でミニフォーラムを開催しています。



参加者55名
アンケート 43名回答結果

④ 令和6年度啓発事業 –ギャンブル等依存症問題啓発–

パネル展示（堺市役所）



アンケート結果

- パネルが順番に見ることができ、わかりやすい
- 相談窓口が書いてあり、わかりやすい
- 対応の仕方がわかりやすい
- 具体的なエピソードなどあれば、わかりやすい
- この程度の啓発では足りない、もっとしないと

ギャンブル等依存症問題啓発月間シンポジウム



～5月は大阪府ギャンブル等依存症問題啓発月間です～

**知ろう！ 気づこう！
依存症**
～ギャンブル等依存のこと～

誰もがなりうる依存症
正しい知識をみんなで学びましょう

人気俳優・声優たちと依存症について学ぼう！

2024年
5/19日
阪急うめだホール
13:30～15:30
入場無料 観客400名

ラジオ関西 公開収録
タカトミ コウジ
タカトミ コウジ
タカトミ コウジ

野村 博 荻原 淳 三原 羽衣 入来 晃久

プログラム

13:30	開演
13:35	トークショー
14:25	昼食
15:15	講演会
15:30	閉演

会場アクセス

会場までのルート

申し込み締切 4月22日(月)～
受付開始!

大阪府 堺市

パネル展示（堺市役所）

アンケート結果

- ❑ セルフチェックができた。○・×がわかりやすかった
- ❑ 高齢者とアルコールが参考になった
- ❑ 20代から飲酒しており、令和6年11月から自転車マナーが厳しくなったので、気を付けないといけない
- ❑ もっとアルコールによる体への影響を写真等で視覚から問いかけるべき
- ❑ 今ではコンビニなどで手軽にアルコールが手に入るので、コンビニなどにポスター等をはればよい



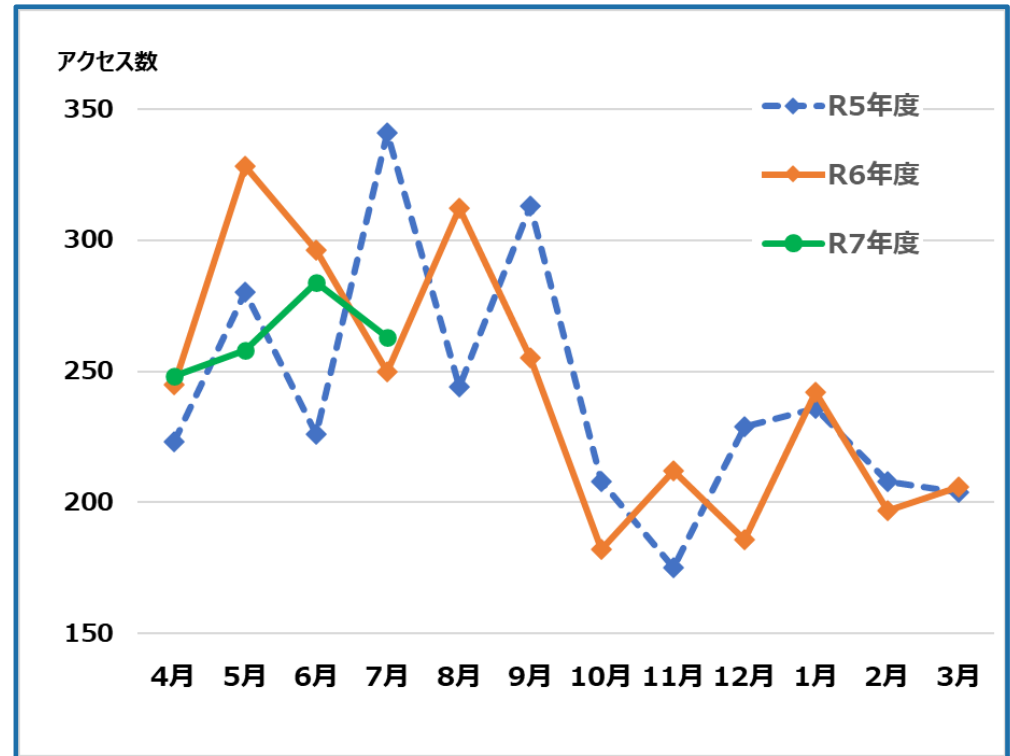
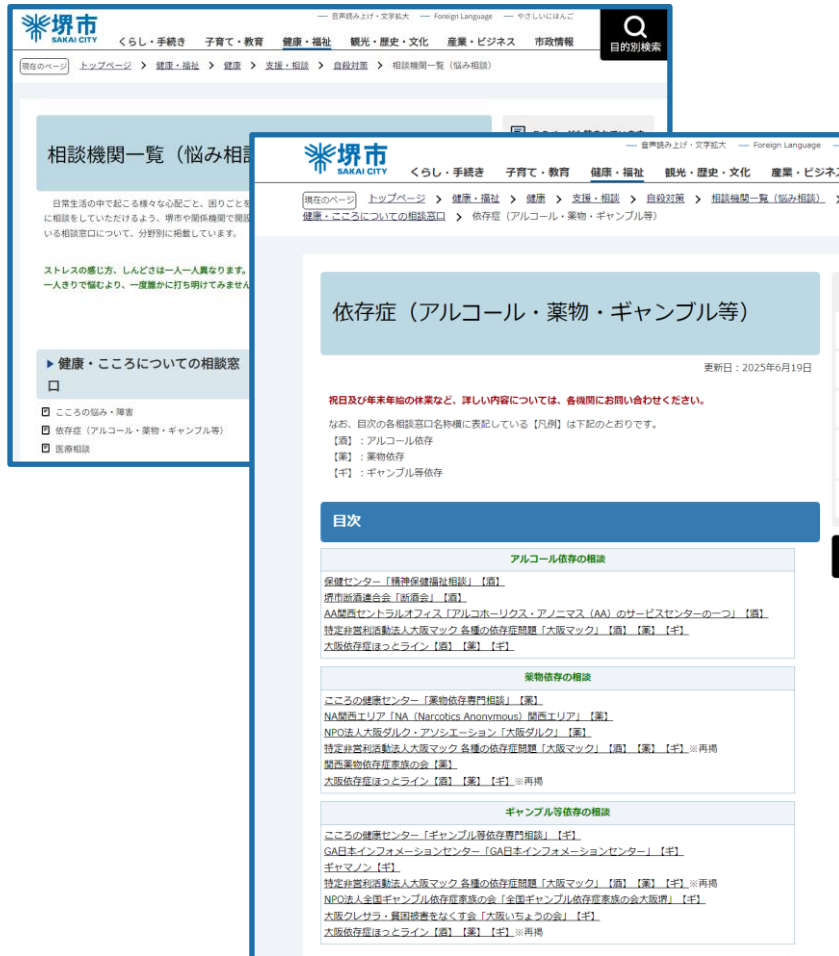
Butterfly Heart 旧堺燈台ライトアップ



全日本断酒連盟 全国（大阪）大会

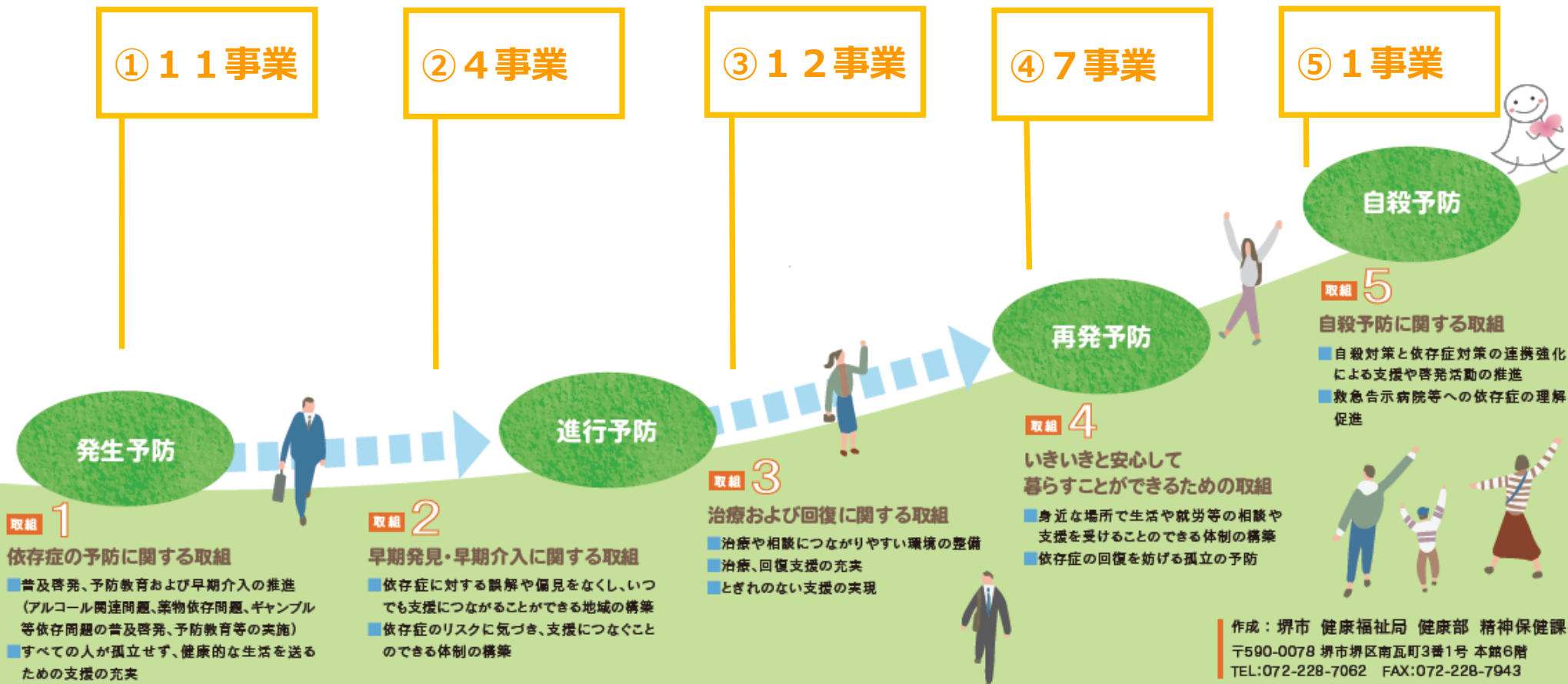


④-3 啓発事業 ー堺市ホームページ 情報提供・啓発ー



ホームページ「依存症の相談窓口一覧」アクセス数

依存症地域支援計画進捗管理実績 = 重点取組と連動



薬物依存症からの回復支援のための連携事業 (大阪保護観察所堺支部との連携) (大阪刑務所との連携)

AUDIT 啓発

ギャンブル等依存症 本人プログラム

令和7年度 ギャンブル等依存症集団回復プログラム

エンデバー Endeavor

Endeavorとは「努力する」という意味があります。
ギャンブルの問題からの回復は平均な道ではありません。
「今日、いちにち」という小さな努力の積み重ねが回復につながります。

ギャンブルの問題、1人で悩んでいませんか？
ここには同じ悩みをかかえた話し合える仲間がいます。



認知行動療法をベースとした全6回のプログラムです。
参加を希望される方は、まずは、当センターに電話にて相談下さい。
堺市こころの健康センター 072-245-9192

開催日
毎月
15:00

第1回
第2回
第3回
第4回
第5回
第6回

※ いずれの日からでも参加できます
※ プログラムは1回限り参加です
※ 相談機関や医療機関の連携者が
参加・見学することがあります

2025年度 ギャンブル等依存症回復プログラム

ナイト エンデバー Night Endeavor

認知行動療法をベースとしたテキストを用いて、あなたの回復に役立つ考え方や
方法を一緒に学びませんか。

開催日程

令和7年 4月 8日(火)
5月 13日(火)
6月 3日(火)
7月 1日(火)
8月 5日(火)
9月 2日(火)

各回 18:30 OPEN
19:00 START

※ いずれの日からでも参加できます
※ プログラムは1回限り参加です
※ 相談機関や医療機関の連携者が
参加・見学することがあります



Endeavorとは「努力する」という意味があります。
ギャンブルの問題からの回復は平均な道ではありません。
「今日、いちにち」という小さな努力の積み重ねが回復につながります。ギャンブルの問題、1人で悩んでいませんか？
ここには同じ悩みをかかえた話し合える仲間がいます。

Endeavor参加のルール

- ① 相手の考え方や経験を尊重しましょう
- ② お互いのプライバシーを守りましょう
- ③ 気持ちの悪いプログラムにしましょう
- ④ 自分自身を大切にしましょう

お問合せ

堺市こころの健康センター TEL 072-245-9192

飲酒習慣スクリーニングテスト (AUDIT)

あなたの飲酒習慣は危険の少ないものでしょうか？
健康に害を及ぼさずなお酒の飲み方を早期に発見するため、WHO（世界保健機構）が開発したテストをやってみましょう。

Let's Try!

10個の質問に、もっとも近い回答の番号を選び、
その番号の数字の合計を計算しましょう。

① あなたはアルコール含有飲料のどのくらいの頻度で飲みますか？ 0. 飲まない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に2〜4度 3. 1か月に5〜7度 4. 1か月に8度以上	② 飲酒する時は通常年20〜30の量で飲みますか？ 0. 1〜2ドリンク 1. 3〜4ドリンク 2. 5〜6ドリンク 3. 7〜8ドリンク 4. 10ドリンク以上	③ 1日に6ドリンク以上飲酒することがある頻度で飲みますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日
④ 過去1年間に、飲みのために仕事を休んだことがありますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日	⑤ 過去1年間に、飲みのために他人と喧嘩したことがありますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日	⑥ 過去1年間に、飲酒の後、体調が悪くなったことがありますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日
⑦ 過去1年間に、飲酒後、運転中や作業中に酔った感じがしたことがありますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日	⑧ 過去1年間に、飲酒のために他人の迷惑を及ぼしたことがありますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日	⑨ 過去1年間に、飲酒のため、他人の迷惑を及ぼしたことがありますか？ 0. ない 1. 1か月に1度未満 2. 1か月に1度 3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日
⑩ あなたの飲酒のために、あなた自身や他の誰かが、けがをしたことがありますか？ 0. ない 1. 過去1年間に1回 2. 過去1年間に2回 3. 過去1年間に3回以上	⑪ 内服薬や鍼灸、友人、医師、あるいは他の医療従事者に勧められ、飲酒を減らすように勧められましたか？ 0. ない 1. 過去1年間に1回 2. 過去1年間に2回 3. 過去1年間に3回以上	⑫ 飲酒習慣の重症度判定 アルコール依存症の疑い 15点以上 現在の飲酒の量や頻度は、アルコール依存症が疑われます。また、飲酒が健康や生活に悪影響を及ぼしている可能性があります。専門医療機関に相談することをお勧めします。

①〜⑫の数字を合計
あなたの点数は、
あなたの飲酒習慣を判定します

1ドリンクは純アルコールで10グラムです。
純アルコール量は計算できます。(計算式)【飲んだ酒の量(ml)×(100のアルコール度数%)÷1000×0.8(比重)】
【例】ビール(5%)330ml×0.8=2.64g
【例】ワイン(12%)150ml×0.8=1.44g
【例】焼酎(25%)75ml×0.8=1.5g
【例】ウイスキー(40%)60ml×0.8=1.92g

はどうでしたか？

アルコール依存症の疑い

疑いがあります。健康だけでなく、生活

にも影響を及ぼす可能性があります。
医療機関は、「お酒が依存症かどうか」から検査できます。

は有害な飲酒

あなたは自身のために、お酒と健康について

考え直す必要があります。
飲みたいときは、
飲酒以外のストレス解消法を見つける
お酒を飲まなくても話ができる仲間をつくる

周囲に減酒していることを宣言する
同僚や飲酒する日数を制限する
飲み会に誘われたら、ランチを提案する
飲み会ではお酒を注がれないよう
グラスを握らない

は少ないと思われる

お酒と上手に付き合えよう。ただし、飲酒

する上で、気を付けましょう。
をしましょう。

使ってみよう！ 見よう！ 厚生労働省ホームページ



参考：健康日本21アクションプラン第4版「健康づくりガイドブック」

大阪司法書士会との連携

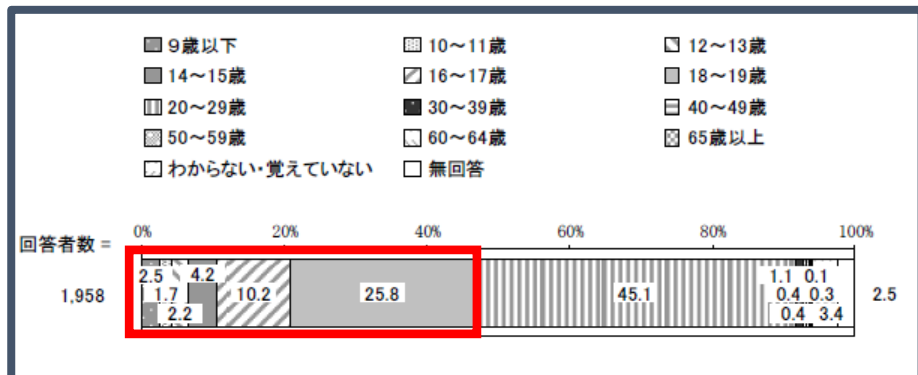
⑦ 市民意識調査について

基礎データ	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム・依存全般
<ul style="list-style-type: none">• 性別• 年齢• 所属、職種• 配偶者の有無• 地域との交流	<ul style="list-style-type: none">• 飲酒開始時期• 飲酒による問題の経験• 飲酒問題の知識と理解	<ul style="list-style-type: none">• 生涯薬物使用と時期• 使用薬物• 使用のきっかけ• 喫煙の有無• 市販薬等の乱用• 薬物使用による問題、理解	<ul style="list-style-type: none">• ギャンブル開始時期• 1年間のギャンブル利用• ギャンブル使用の金額• ギャンブルによる問題、理解• 違法ギャンブルの理解• PGSI	<ul style="list-style-type: none">• ゲーム、ネットの使用時間• ゲーム、ネットによる問題、理解• 依存症に対するスティグマ• 相談機関の認知度

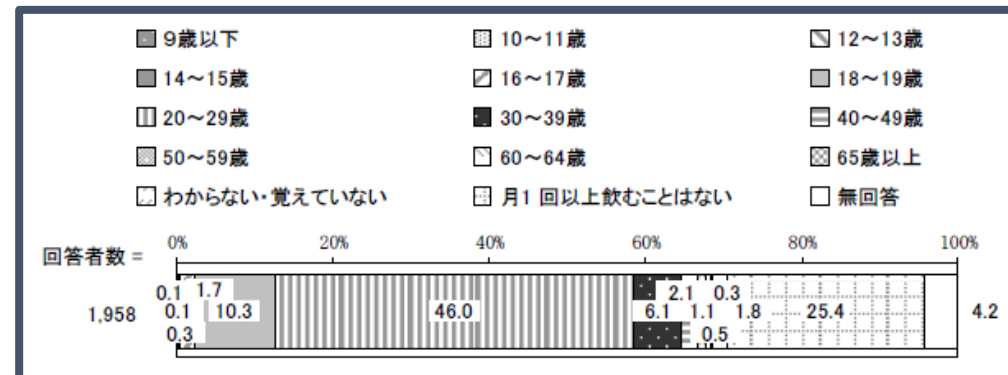
⑦-2 市民意識調査について 〈アルコール〉

お酒、薬、ギャンブル等、インターネット・ゲームに関する意識行動調査（令和3年3月）【*1】

問7（1）初めてお酒を飲んだのは何歳でしたか

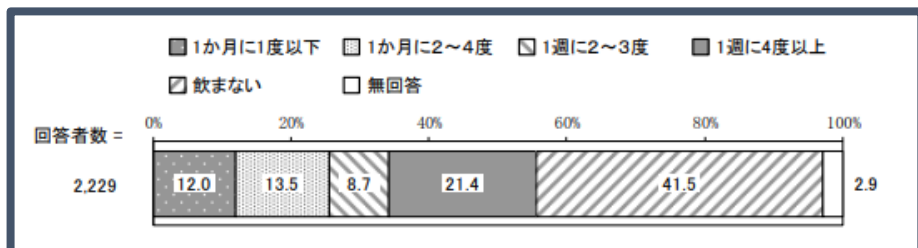


問7（2）月1回以上お酒をのむようになったのはいつ頃からですか

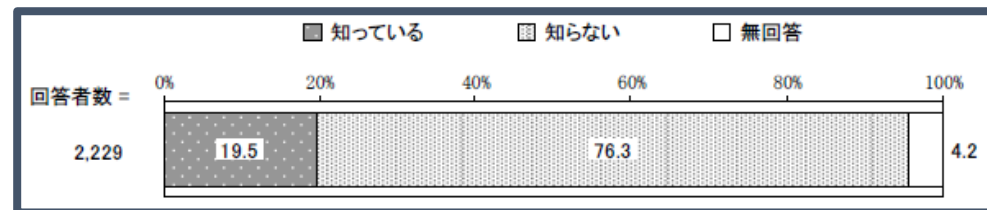


こころの健康といのちに関する意識調査（令和3年3月）【*2】

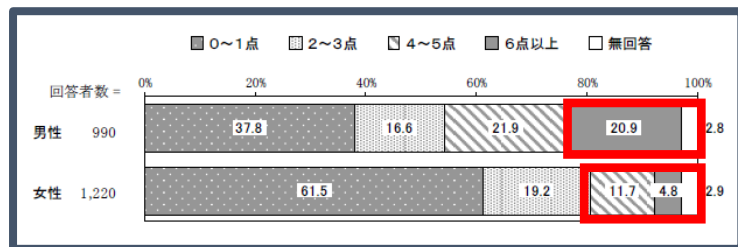
問10 お酒（アルコール飲料）をどのくらいの頻度で飲みますか



問11 生活習慣病のリスクを高める飲酒量（男性4ドリンク/日、女性2ドリンク/日）を知っていますか



AUDIT-C
による飲酒
量評価

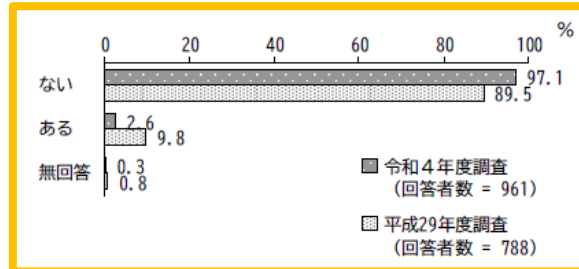


⑦-3 市民意識調査について 〈アルコール〉

さかい健康プラン2024（令和6）年度～2035（令和17）年度 【*3】

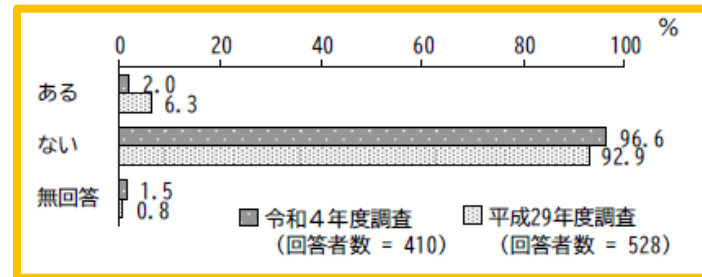
○【中学2年生対象】

コップ1杯以上、飲んでしまったことがあるか



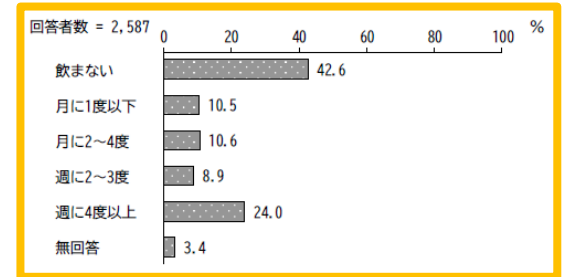
○【17歳対象】

コップ1杯以上、1か月以内に飲んだことがあるか



○【20歳以上】

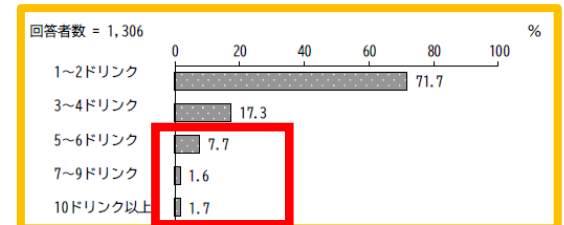
アルコール飲料をどのくらいの頻度で飲むか



堺市健康に関するアンケート調査（令和5年12月）

○【20歳以上】

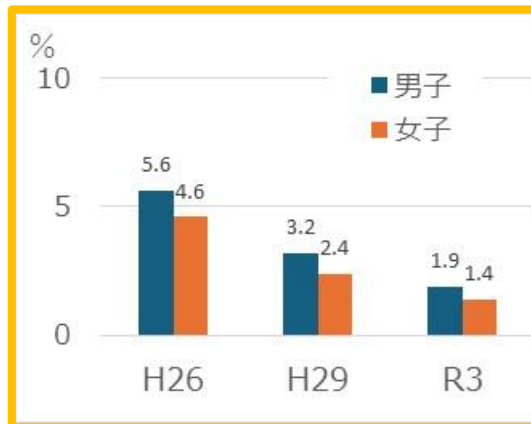
飲酒するとき、通常どのくらい飲むか



厚生労働科学研究費補助金による研究班の調査 【*4】 【*5】 【*6】

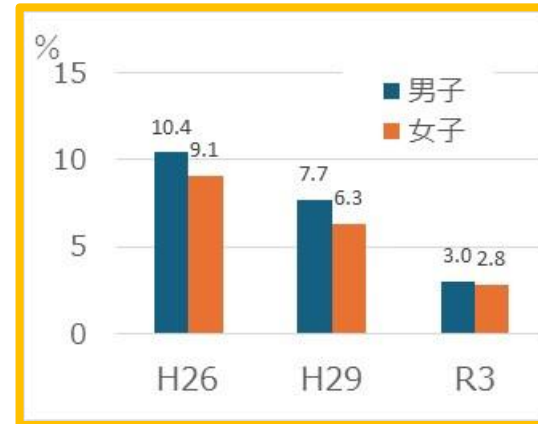
○【中学生】

30日間で1日でも飲酒



○【高校生】

30日間で1日でも飲酒



厚生労働科学研究費補助金 研究報告書

（H26年調査）未成年者の健康課題および生活習慣に関する実態調査研究
平成27年度 総括研究報告書

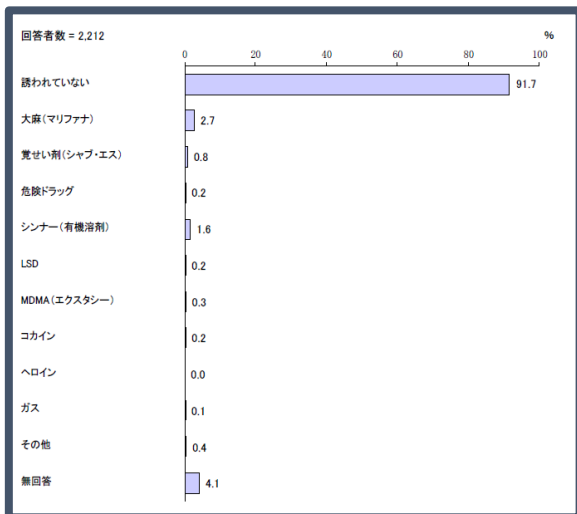
（H29年調査）飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の
効果的な介入方法の開発に関する研究

（R3年調査）喫煙、飲酒等生活習慣の実態調査及び生活習慣の改善に向けた研究

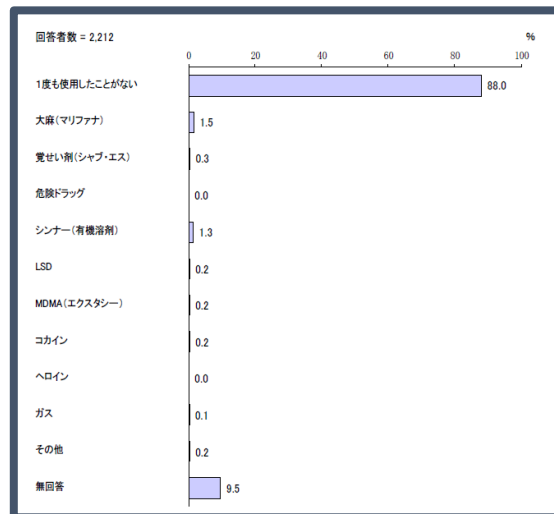
⑦-4 市民意識調査について 〈薬物〉

お酒、薬、ギャンブル等、インターネット・ゲームに関する意識行動調査（令和3年3月）【*1】

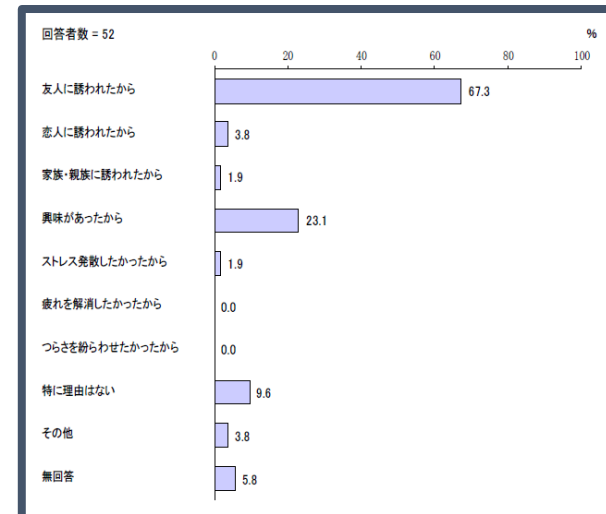
問10 1回でも薬物使用に誘われた経験と薬物



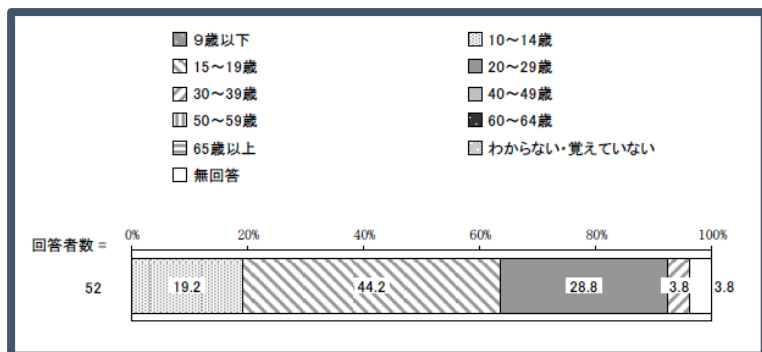
問11 (1) 1回でも使用したことのある薬物



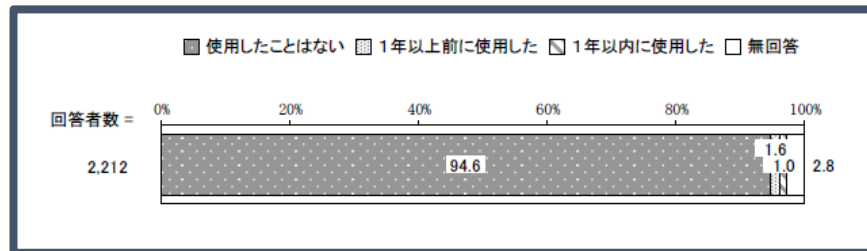
問11 (3) 薬物を使用の主なきっかけ



問11 (1) 薬物使用年齢



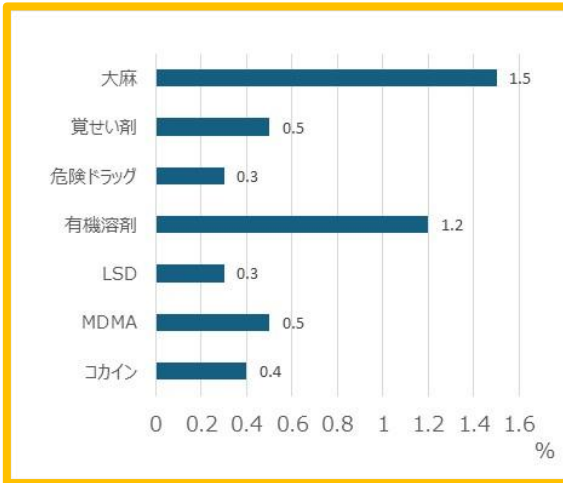
問14 市販薬や処方薬の乱用



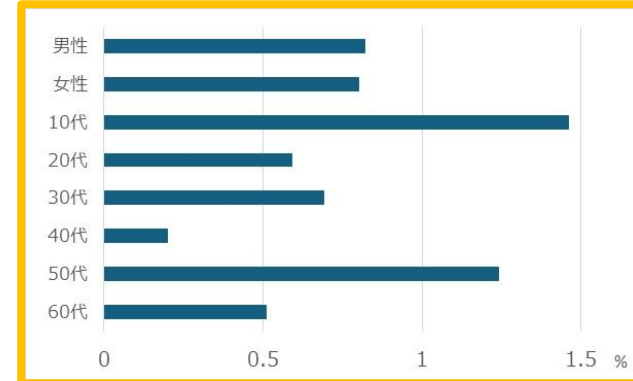
⑦-5 市民意識調査について 〈薬物〉

令和5-6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業）総合研究報告書
薬物乱用・依存状況の実態把握のための全国調査と近年の動向を踏まえた大麻等の乱用に関する研究 【*7】

○違法薬物の生涯経験率



○過去1年以内の市販薬の乱用経験



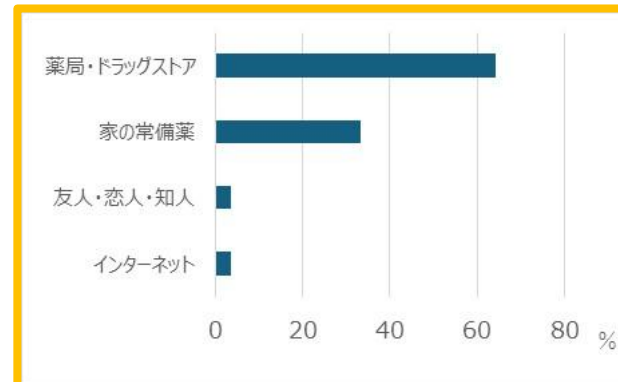
○救急医療における薬物関連中毒症例に関する実態調査：一般用医薬品を中心に

- ・124症例登録
うち、女性 98人
年齢中央値 22.0歳（12～85歳）
社会的活動に参加 87.9%
- ・習慣群 33人、非習慣群 91人 との比較
習慣群は非習慣群と比べて、年齢が低い
習慣群はリラクゼーションなど目的で過剰摂取
非習慣群は自傷や自殺企図の手段として過剰摂取

○中学生意識・実態調査 過去1年以内の市販薬乱用経験率

全体：1.8%
男子：1.5%
女子：2.0%

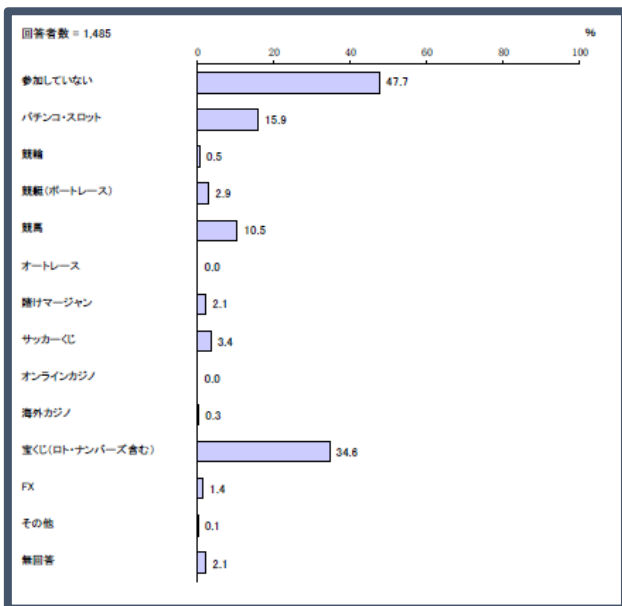
○中学生意識・実態調査 乱用した市販薬の入手先



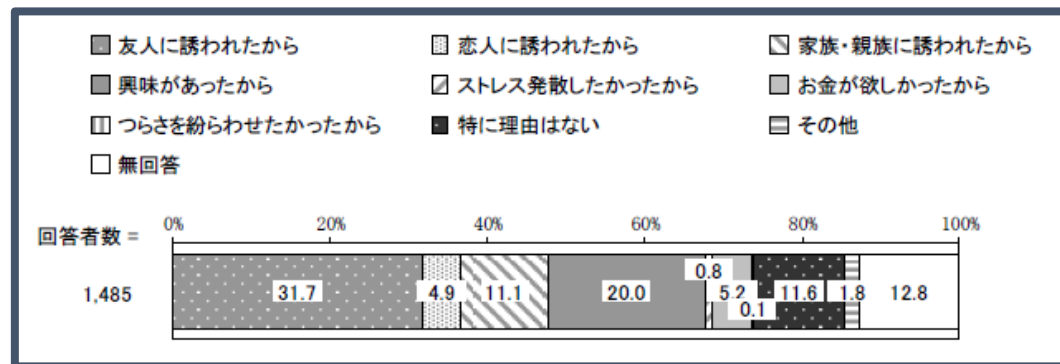
⑦-6 市民意識調査について 〈ギャンブル等〉

お酒、薬、ギャンブル等、インターネット・ゲームに関する意識行動調査（令和3年3月）【*1】

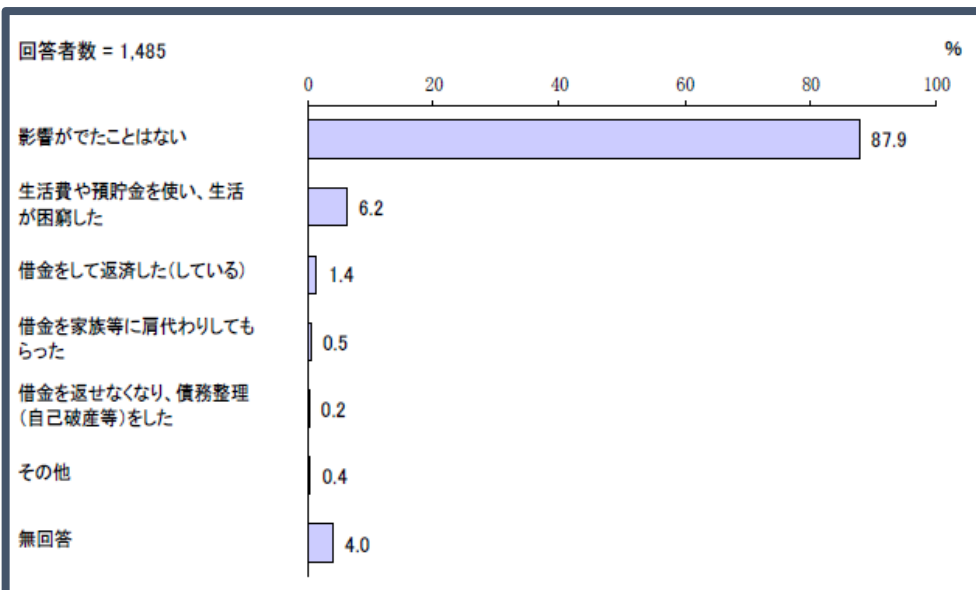
問17 この1年間で参加したギャンブル等



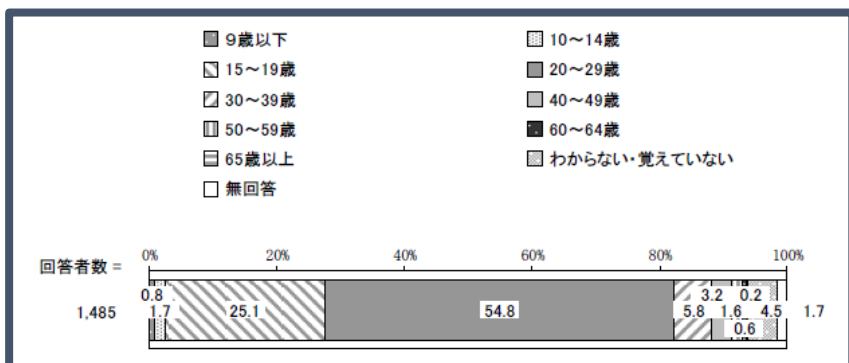
問17 (3) ギャンブルに参加したきっかけ



問17 (6) ギャンブル等により、生活に影響がでたことがありましたか



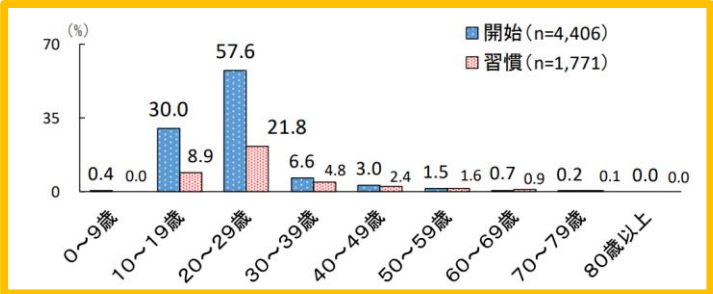
問17 (2) 初めてギャンブル等に参加したのはいつですか



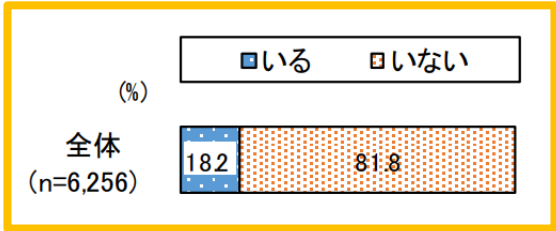
⑦-7 市民意識調査について 〈ギャンブル等〉

大阪府民の「健康と生活に関する調査」報告書（令和5年度実施） 【*8】

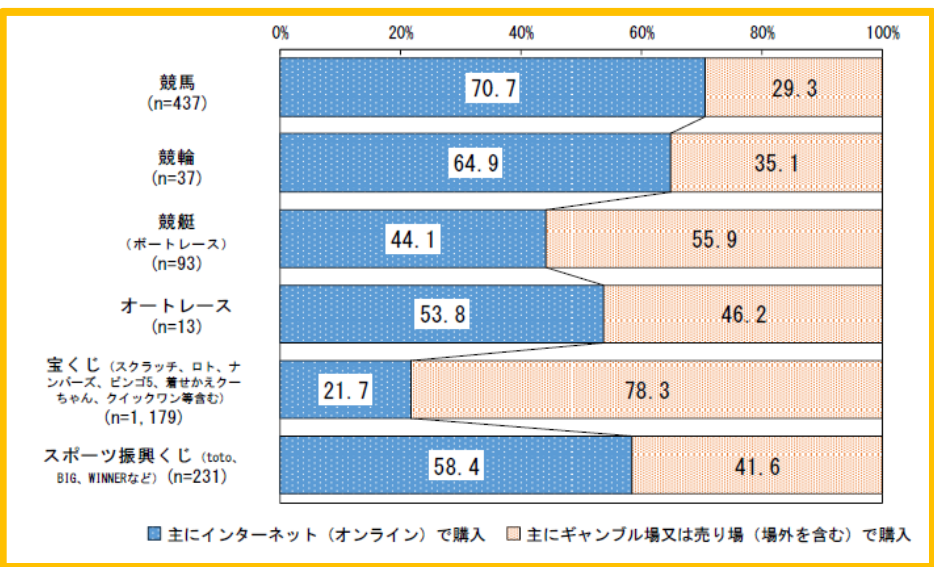
○ギャンブル等を開始した年代、習慣的になった年代



○家族や重要な他者にギャンブル等の問題がある（あった）人の有無



○過去1年間のギャンブル等の主な券の購入方法



依存症に関する調査研究事業「ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査」報告書（令和5年度） 【*9】

○ギャンブル等依存症が疑われる者

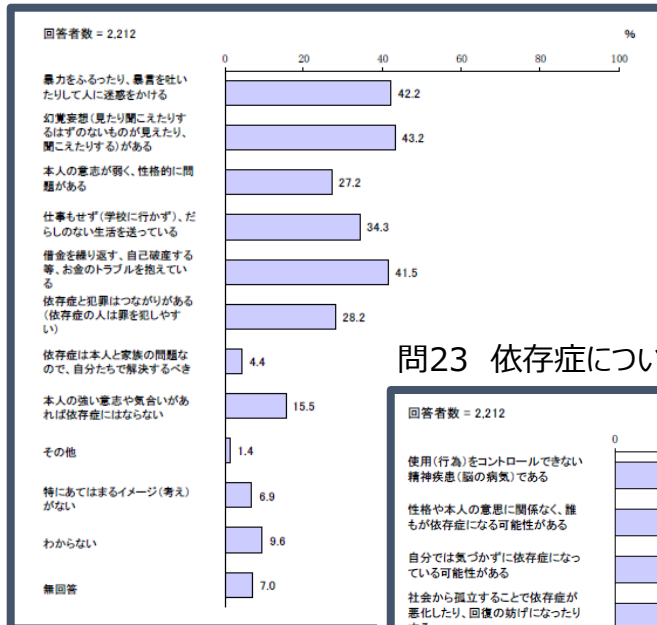
	男性	女性	全体	人数
割合	2.8%	0.5%	1.7%	140名
(95%信頼区間)	(2.3～3.3%)	(0.3～0.7%)	(1.4～1.9%)	/8,812名

松下幸生, 古賀佳樹, 新田千枝, 浦山悠子, 柴山笑凜, 遠山朋海, 伊東寛哲, 木村充;
令和5年度 依存症に関する調査研究事業「ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査」, 2024年

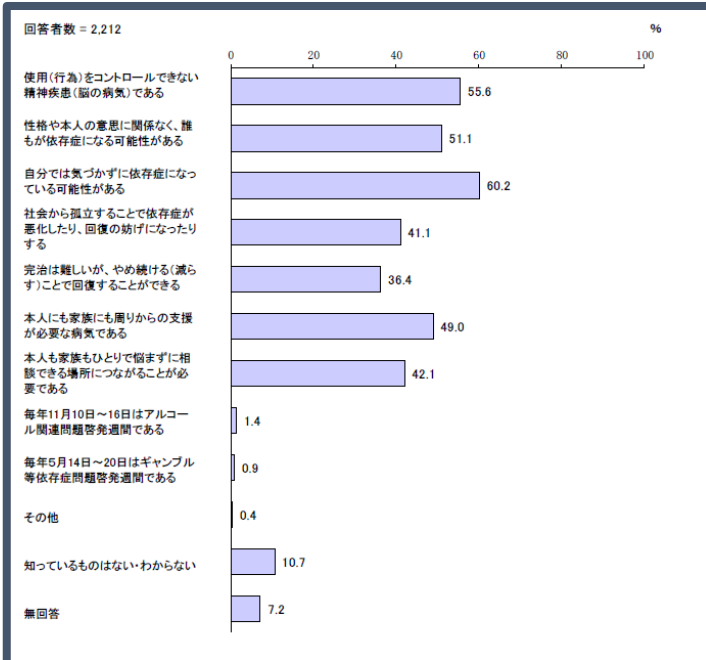
⑦-8 市民意識調査結果について 〈依存症全般〉

お酒、薬、ギャンブル等、インターネット・ゲームに関する意識行動調査（令和3年3月）【＊1】

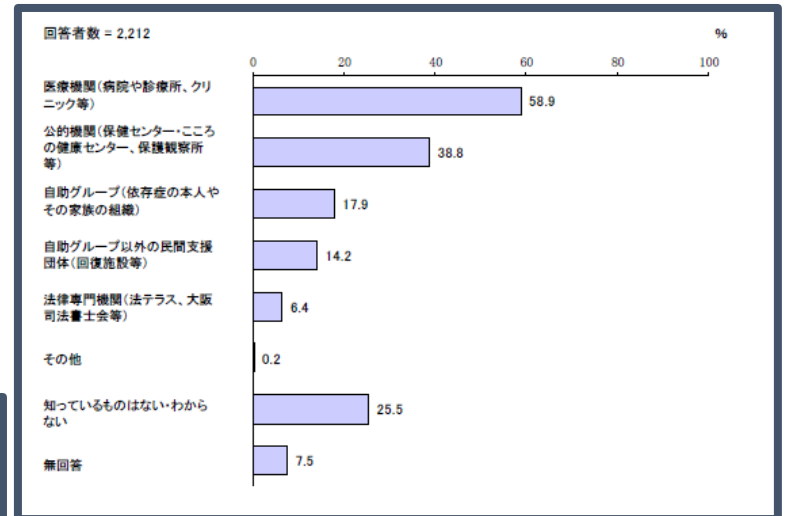
問22 依存症に対するイメージ



問23 依存症について知っていること



問24 依存症のことで相談できる場所の認知度



〈引用〉

【＊1】お酒、薬、ギャンブル等、インターネット・ゲームに関する意識行動調査（令和３年３月）

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/sodan/izonsho/73787820211210095900067.html>

【＊2】こころの健康といのちに関する意識調査（令和3年3月3月）

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/sodan/jisatsutaisaku/73787820211209110825790.files/houkokusyo.pdf>

【＊3】さかい健康プラン2024（令和6）年度～2035（令和17）年度

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kenkozukuri/sakai-kenko-plan/index.files/honpen.pdf>

【＊4】（H26年調査）未成年者の健康課題および生活習慣に関する実態調査研究 平成27年度 総括研究報告書

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/25308>

【＊5】（H29年調査）飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/27105>

【＊6】（R3年調査）喫煙、飲酒等生活習慣の実態調査及び生活習慣の改善に向けた研究

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/162312>

【＊7】令和5-6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業）総合研究報告書
薬物乱用・依存状況の実態把握のための全国調査と近年の動向を踏まえた大麻等の乱用に関する研究

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/171611>

【＊8】大阪府民の「健康と生活に関する調査」

https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/105691/r6houkokusyo_314.pdf

【＊9】令和5年度 依存症に関する調査研究事業 ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査

<https://www.ncasa-japan.jp/pdf/document97.pdf>